

## BONGO ポンゴ

Bruno Faidutti / Heidelberger Spielverlag

2 ~ 8人 / 8才以上 / 40分

標準ゲームでは5つの白い動物ダイス、2つの黄色い竹ダイスを使います。赤いダイスは上級ルールでのみ使用します。ゲームの入っている筒をダイスカップとして使い、筒の中にダイスを入れ机の上に振り出します。

(訳注：筒ではなく、巾着袋にコンポーネントが入ったものもあります。)

数

2つの竹ダイスには竹の本数で1, 2, 3の数が示されています。この数字はプレイヤーが探す動物の数を表しています。2つの竹ダイスが同じ数字をあらわした場合、その数字を使います。違う数が出た場合は残りの1つの数字を使います。

例：



ダイスの目は1を表します。



ダイスの目は2を表します。

動物

1と同時にプレイヤーは竹ダイスが示している数と同じ数の動物を探します。

例：



このラウンドの勝利者は最初に「ヌー(gnu)」と声をあげた人になります。竹ダイスの目は3を表しているので、動物ダイスの中から3個出ている絵柄の動物を探します。この例の場合、ヌーが3個出ているので、「ヌー」と発声するのが正解です。

特別な場合 その1



竹ダイスの目が2を表しているので、プレイヤーは同じ動物が二つ出ているものを探します。しかし、サイとヌーが2個ずつあります。この場合には残りの一種類の動物、「アンテロープ」と声をあげるのが正解です。

つまり、竹ダイスの目の数と同じ数が出ている動物が二種類あった場合、プレイヤーは残り一種類の動物の名前をいち早く言わなければいけません。

特別な場合 その2



竹ダイスの目の表す動物が見つからないことも起こりえます。この例の場合、竹ダイスの目は2を表していますが、サイが3個とアンテロープ、ヌーが1個ずつしか出ていません。この場合は「ない」と答えるのが正解になります。

得点

正しい答を一番早く言うことができたプレイヤーがその動物に対応する木をもらえます。色の対応は、サイを当てれば青色、アンテロープを当てれば赤色、ヌーを当てれば黒色です。「なし」を当てた場合は好きな色の木を一本もらえます。もし、対応する色の木が全部分配されてしまった場合、その色を一番多く持っているプレイヤーから木を奪えます(一番多く持っているプレイヤーが二人以上いた場合は、誰から取るかは正解したプレイヤーが選択できます)。そのラウンドで得点したプレイヤーがダイスを振って、次のラウンドが始まります。

ミス

答が間違っていた場合、その誤答と対応する色の手持ちの木をすべて場に返します。もし「なし」と言った答が間違っていた場合、すべての手持ちの木を失います。しかし、そのラウンドは正解者が出るまで続きます。

勝利条件

ゲームを続け、各色の木を2本ずつ獲得するか、ある色の木をすべて集めたプレイヤーがこのゲームの勝者です。

上級ルール

赤色のダイスを2個加えて振ります。この2個の赤いダイスが同じ柄だったときはその動物に、違う動物だったときはもう種類の動物に対応する、白いダイスの目を一つ打ち消すものとして遊びます。

例：



プレイヤーは白いダイスで2個見える動物を探します。3個のサイと2個のアンテロープが見えていますが、赤色ダイスの効果で、アンテロープが一個打ち消されてしまいます。したがって、2個見える動物が存在しないので、残り一種類の動物の名前、ヌーを答えるのが正解です。